



交付運用報告書

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド
通貨セレクトコース
<愛称> トリプルストラテジー
追加型投信／内外／不動産投信

作成対象期間：2022年12月20日～2023年6月19日

第120期 決算日：2023年1月18日 第121期 決算日：2023年2月20日

第122期 決算日：2023年3月20日 第123期 決算日：2023年4月18日

第124期 決算日：2023年5月18日 第125期 決算日：2023年6月19日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界各国のREIT等を実質的な主要投資対象とし、さらに「REITプレミアム（カバードコール）戦略」の活用および6通貨の為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指すことにより、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

| | |
|-------------------------------------|-----------|
| 第125期末 2023.6.19 | |
| 基準価額 | 2,000円 |
| 純資産総額 | 17,856百万円 |
| 第120期～第125期 2022.12.20～2023.6.19 | |
| 騰落率* | 20.7% |
| 期中分配金合計 | 60円 |

* 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

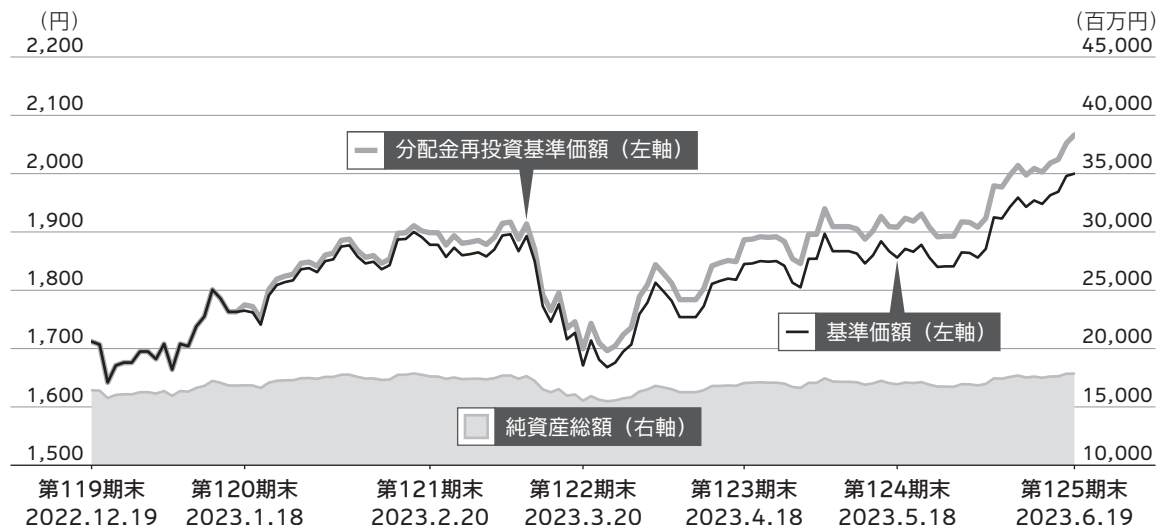
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

第120期首

基準価額
1,712円

騰落率

20.7%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

第125期末

基準価額
2,000円
(期中分配金)
(合計60円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2022年12月19日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currencyへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース

主要投資対象である「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency」の基準価額が上昇したことから、当期の分配金再投資基準価額も上昇しました。

UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency

保有していたREITなどの価格上昇がプラスに寄与しました。為替取引では、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる通貨（ブラジルレアル、インドルピー、南アフリカランド、メキシコペソ、チェココルナ、チリペソ、ハンガリーフォリント、ポーランドズロチ）を購入し、プレミアムの獲得を目指しました。なお、2023年1月初めに南アフリカランドからインドルピー、2023年4月初めにチェココルナから南アフリカランド、2023年6月初めに南アフリカランドからポーランドズロチに、それぞれ入れ替えを行いました。メキシコペソなど保有するほとんどの通貨が円に対して上昇したことが、プラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンド及びマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド  マザーファンド以外のファンド

● 1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第120期～第125期 2022.12.20～2023.6.19 | | 項目の概要 |
|-----------|-------------------------------------|--------------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 9円 | 0.483% | (a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は1,816円です。 |
| (投信会社) | (3) | (0.192) | ファンドの運用の対価 |
| (販売会社) | (5) | (0.274) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (0) | (0.016) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 | 0 | 0.004 | (b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$ |
| (監査費用) | (0) | (0.003) | 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (その他) | (0) | (0.001) | 信託事務の処理にかかるその他の費用等 |
| 合計 | 9 | 0.487 | |

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

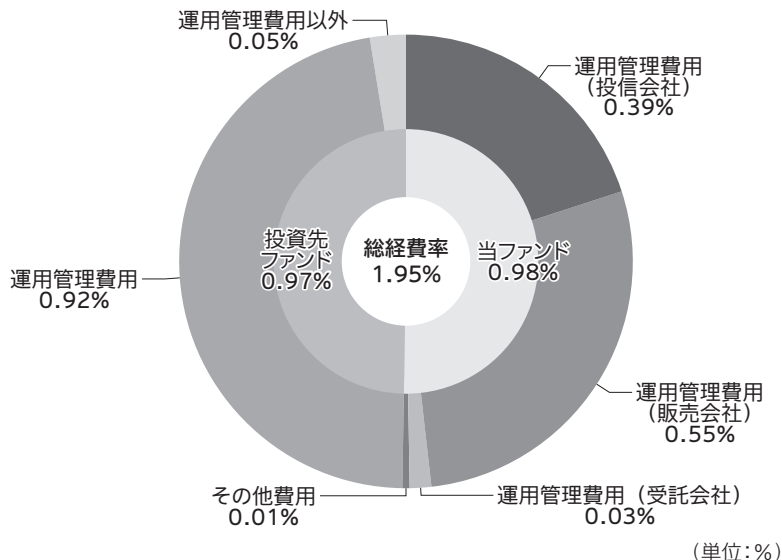
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.95%**です。



| 総経費率(①+②+③) | 1.95 |
|----------------------|------|
| ①当ファンドの費用の比率 | 0.98 |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.92 |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.05 |

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

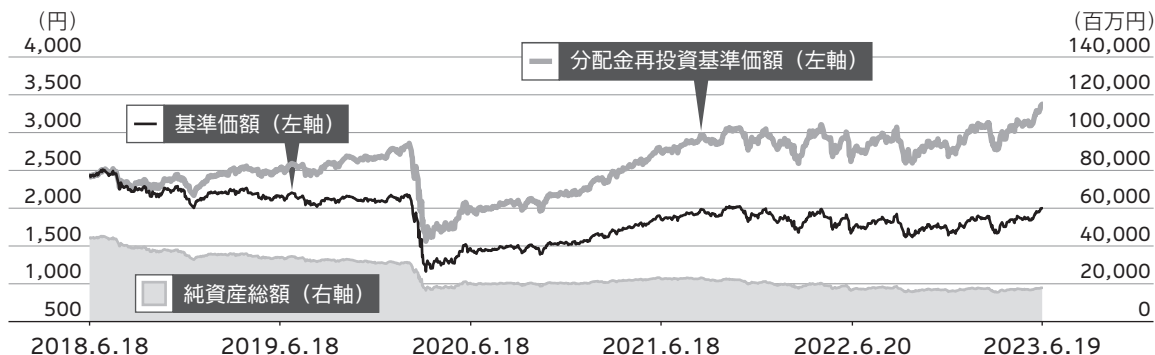
注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2018.6.18~2023.6.19



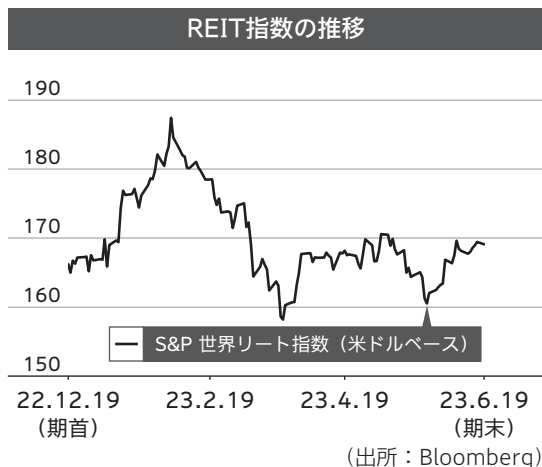
- 分配金再投資基準価額の推移は、2018年6月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currencyへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

| 決算日 | 2018.6.18 決算日 | 2019.6.18 決算日 | 2020.6.18 決算日 | 2021.6.18 決算日 | 2022.6.20 決算日 | 2023.6.19 決算日 |
|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 (円) | 2,433 | 2,142 | 1,458 | 1,852 | 1,708 | 2,000 |
| 期中分配金合計（税引前）(円) | — | 360 | 300 | 120 | 120 | 120 |
| 分配金再投資 基準価額騰落率 (%) | — | 3.5 | △ 20.4 | 36.9 | △ 1.7 | 25.2 |
| 純資産総額 (百万円) | 44,324 | 33,666 | 20,243 | 22,587 | 16,840 | 17,856 |

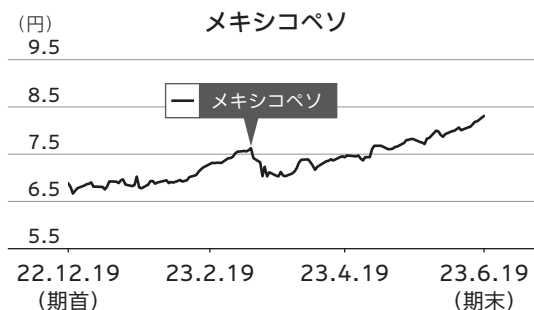
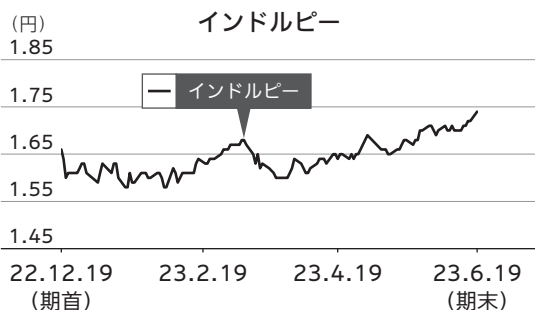
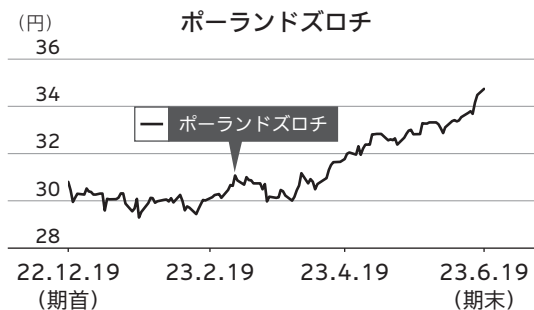
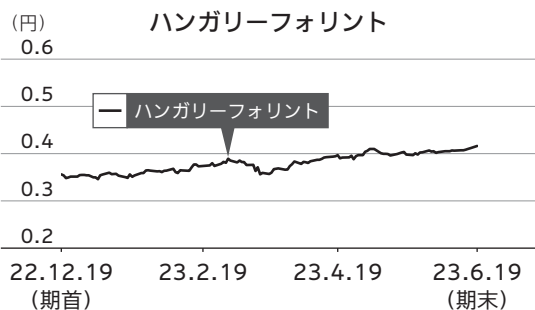
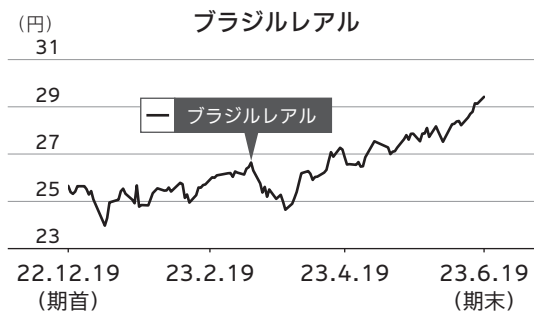
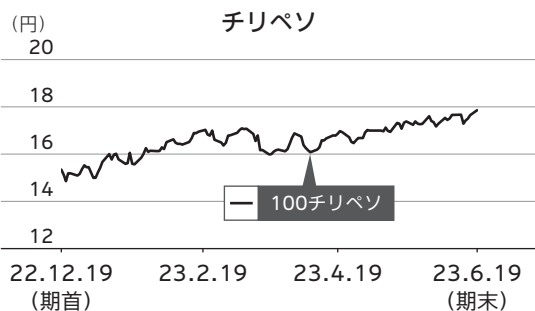
● 投資環境

グローバルREIT市場はほぼ横ばいでした。

2023年2月の初旬にかけては、米国では、消費者物価指数の伸びの鈍化を受けて利上げペースの減速期待が生じたことや、欧州では、インフレがピークアウトした可能性が意識されたことなどを背景に大きく上昇しました。3月中頃にかけては、米国で予想を上回る経済指標を受けて早期の利上げ停止期待が後退したことや、米国の中堅銀行の相次ぐ破綻や、スイスの金融大手グループの経営不安が波及し景気後退や金融システムへの影響が懸念され、大きく下落しました。3月末には、金融不安の後退から下げ幅を一部取り戻しました。5月下旬にかけては、米国で中堅銀行が破綻したことや、米国の債務上限問題、長期金利上昇などを受けて軟調な展開となりました。期末にかけては、米国の債務上限問題が決着したことや、長期金利の低下、FRB（米連邦準備理事会）が政策金利を据え置く見方が強まったことなどを受けて堅調に推移しました。為替市場では、メキシコペソや、チリペソなどが上昇し、プラスに寄与しました。



為替レートの推移(対円)



(出所：Bloomberg および投資信託協会)

注1. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注2. 当期末時点で保有している通貨について表示しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency」への投資比率は期中を通じ高位に保ちました。



UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency

当ファンドは、世界のREIT、不動産関連企業の中から相対的に利回りが高いと考えられる銘柄を厳選して投資を行いました。また、REITのカバードコール戦略の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得を目指し、ファンドのトータルリターンの上を目指しました。

為替取引においては相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる通貨（ブラジルリアル、インドルピー、南アフリカランド、メキシコペソ、チェココルナ、チリペソ、ハンガリーフォリント、ポーランドズロチ）を購入し、プレミアムの獲得を目指しました。



損保ジャパン日本債券マザーファンド

金利戦略は定量分析に基づき、年限間の割安割高判断に基づいてウェイトを決定するデュレーション戦略を基本戦略としました。また、デュレーション幅は市場の状況に合わせて中立も含めて機動的に変更しました。債券種別戦略は、非国債のオーバーウェイトを継続しました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currencyへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、収益分配方針に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

| 項目 | 第120期 | 第121期 | 第122期 | 第123期 | 第124期 | 第125期 |
|-----------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | 2022.12.20 } 2023.1.18 | 2023.1.19 } 2023.2.20 | 2023.2.21 } 2023.3.20 | 2023.3.21 } 2023.4.18 | 2023.4.19 } 2023.5.18 | 2023.5.19 } 2023.6.19 |
| 当期分配金 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| (対基準価額比率) | 0.563% | 0.530% | 0.595% | 0.539% | 0.536% | 0.498% |
| 当期の収益 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 当期の収益以外 | — | — | — | — | — | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,750 | 1,754 | 1,756 | 1,759 | 1,761 | 1,765 |

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

決算期毎にインカム収入[※]を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、REITの配当収入のほか、オプションを売却した対価として受け取る権利料（オプションプレミアム）、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース

「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency」および「損保ジャパン日本債券マザーファンド」を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。

UBPOPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency




主として、日本を含む世界各国の取引所に上場されている相対的に利回りが高いと判断されるREIT及び不動産関連の株式などを実質的な主要投資対象とし、相対的に高い配当収入などの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。また、カバードコール戦略の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得を目指します。

加えて、原則、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる通貨の為替取引を行い、為替取引によるプレミアムの獲得を目指します。

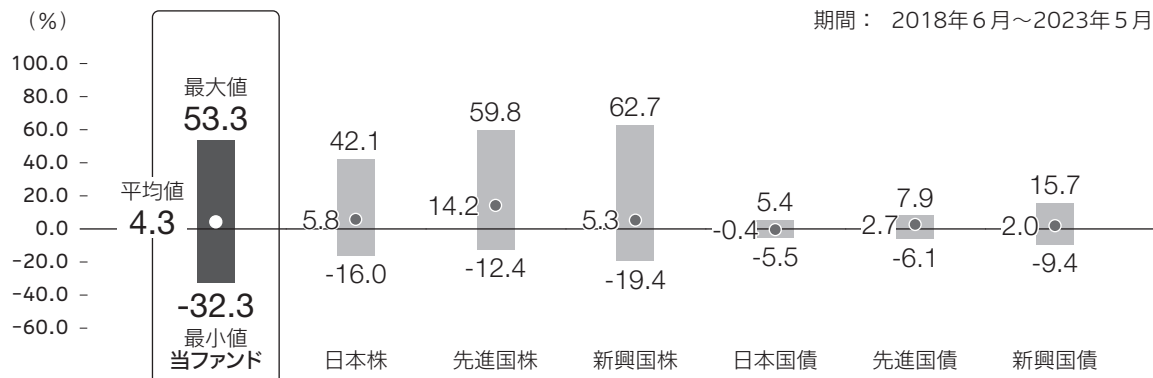
損保ジャパン日本債券マザーファンド

金利戦略については、相場環境に応じてカーブ戦略を中心に機動的に変更する方針です。債券種別戦略については、非国債をオーバーウェイトする戦略を継続する方針です。

● 当該投資信託の概要

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／不動産投信 |
| 信託期間 | 2013年1月29日から2027年12月16日まで |
| 運用方針 | インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。 |
| 主要投資対象 |  好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース 投資信託証券 |
| |  UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency 日本を含む世界各国の取引所に上場されているREIT（不動産投資信託証券）及び不動産関連の株式等 ※投資顧問会社 UBPインベストメンツ ※副投資顧問会社 ・TCW インベストメント マネジメント カンパニー ・ユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエー |
| |  損保ジャパン日本債券マザーファンド 日本の公社債 |
| 運用方法 | <p>① 日本を含む世界各国の取引所に上場されている相対的に利回りが高いと判断されるREIT（リート、不動産投資信託証券）及び不動産関連の株式等を実質的な主要投資対象とし、相対的に高い配当収入等の確保と信託財産の成長を図ることを目指します。</p> <p>② 「REITプレミアム（カバードコール）戦略」の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得を目指し、ファンドのトータルリターンの上を目指します。</p> <p>③ 原則、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる6通貨の為替取引を行い、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指します。</p> |
| 分配方針 | <p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> |

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

| | |
|------|---------------------------------------|
| 日本株 | 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) |
| 先進国株 | MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース) |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース) |
| 日本国債 | NOMURA-BPI国債 |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) |
| 新興国債 | JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース) |

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は18ページをご参照ください。▶

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

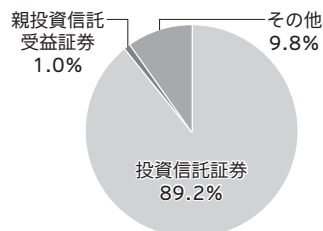
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

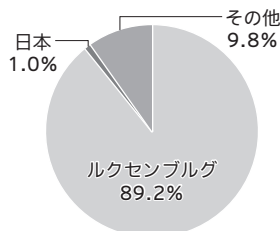
| | 第125期末 2023.6.19 |
|---|---------------------|
| UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency | 89.2% |
| 損保ジャパン日本債券マザーファンド | 1.0% |

注：比率は第125期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注：比率は第125期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

| 項目 | 第120期末 2023.1.18 | 第121期末 2023.2.20 | 第122期末 2023.3.20 | 第123期末 2023.4.18 | 第124期末 2023.5.18 | 第125期末 2023.6.19 |
|----------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 純資産総額 | 16,852,986,085円 | 17,615,764,925円 | 15,537,606,523円 | 17,049,695,511円 | 16,934,881,016円 | 17,856,123,864円 |
| 受益権総口数 | 95,474,923,495口 | 93,819,654,406口 | 92,997,641,268口 | 92,411,698,881口 | 91,220,106,892口 | 89,288,265,774口 |
| 1万口当たり 基準価額 | 1,765円 | 1,878円 | 1,671円 | 1,845円 | 1,856円 | 2,000円 |

※ 当作成期間（第120期～第125期）中における追加設定元本額は1,321,523,349円、同解約元本額は7,987,931,521円です。

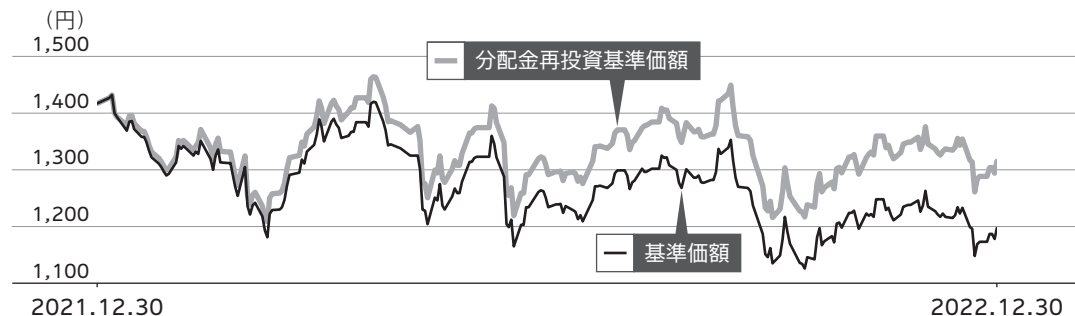
● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。



UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency

基準価額の推移



- 基準価額は、好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコースの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- 分配金再投資基準価額は、2021年12月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

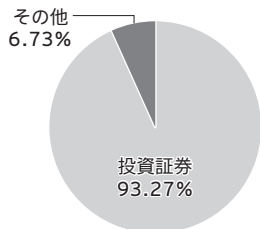
1万口当たりの費用明細

当該期間（2022年1月1日～2022年12月31日）の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

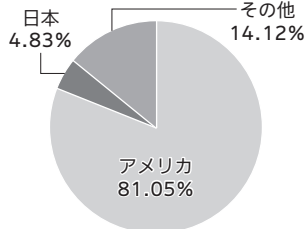
組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 業種 | 比率 |
|--------------------------------|-----|-----------|------|
| 1 GAMING AND LEISURE PROPERTIE | 米ドル | 専門REIT | 7.1% |
| 2 EQUINIX INC | 米ドル | 専門REIT | 6.4% |
| 3 WELLTOWER INC | 米ドル | ヘルスケアREIT | 4.2% |
| 4 CBRE GROUP INC - A | 米ドル | 不動産サービス | 4.2% |
| 5 SIMON PROPERTY GROUP INC | 米ドル | 店舗用REIT | 3.8% |
| 6 WEYERHAEUSER CO | 米ドル | 専門REIT | 3.8% |
| 7 LENNAR CORP-A | 米ドル | 住宅建設 | 3.6% |
| 8 AVALONBAY COMMUNITIES INC | 米ドル | 住宅用REIT | 3.6% |
| 9 TOLL BROTHERS INC | 米ドル | 住宅建設 | 3.5% |
| 10 VICI PROPERTIES INC | 米ドル | 専門REIT | 3.4% |
| 組入銘柄数 | | 31銘柄 | |

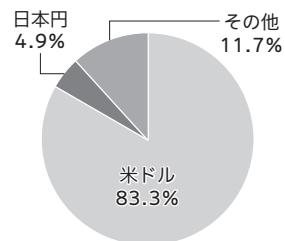
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2022年12月31日）現在のものです。

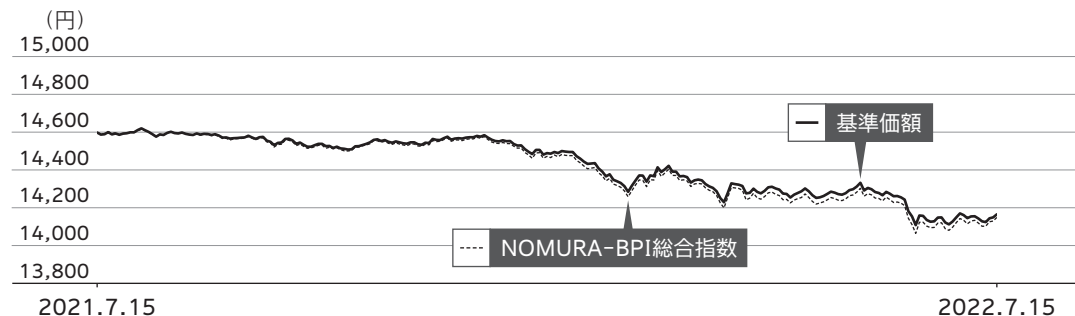
注2. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

注3. 組入上位10銘柄および通貨別配分は、UBPインベストメンツおよびTCWインベストメントマネジメントカンパニー、ユニオンバンケールブリヴェュービーピーエスエーが作成したデータを掲載しています。資産別配分および国別配分は、組入ファンドの財務諸表より、委託会社が翻訳し作成したものです。



損保ジャパン日本債券マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）の推移は、2021年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

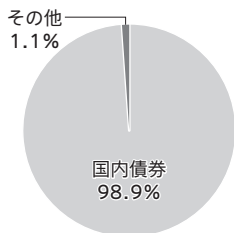
| 項目 | 2021.7.16~2022.7.15 | |
|-----------|---------------------|--------------|
| | 金額 | 比率 |
| その他費用 | 0円 | 0.000% |
| (その他) | (0) | (0.000) |
| 合計 | 0 | 0.000 |

期中の平均基準価額は14,436円です。

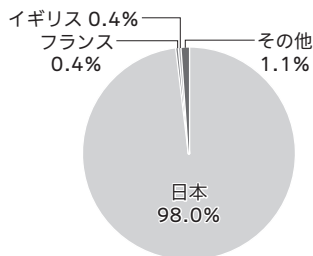
組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|-------------------|--------|------|-------|------|
| 1 第351回利付国債(10年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 4.1% |
| 2 第426回利付国債(2年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 3.9% |
| 3 第143回利付国債(5年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 3.5% |
| 4 第139回利付国債(5年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 3.4% |
| 5 第150回利付国債(5年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 3.3% |
| 6 第147回利付国債(5年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 3.1% |
| 7 第346回利付国債(10年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 2.9% |
| 8 第433回利付国債(2年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 2.7% |
| 9 第145回利付国債(20年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 2.7% |
| 10 第174回利付国債(20年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 2.7% |
| 組入銘柄数 | | 98銘柄 | | |

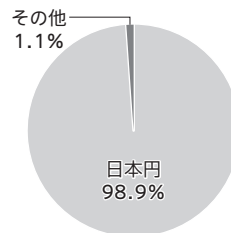
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2022年7月15日)現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース 検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0936/price.html>

The screenshot shows the SOMPO Asset Management website. The main content area displays the fund name '好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース (愛称 トリプルストラテジー)' and its Japanese economic news ticker name 'トリプル通貨'. Below this, there is a table of documents:

| | | | | | |
|---|------------------------|----|-----------------------------|---|--------------------------|
| 交 | 交付目論見書 (2023.03.18) | 運 | 交付運用報告書 (2022.12.19) | 休 | 海外休業日 (申込不可日) 2023年 |
| 請 | 請求目論見書 (2023.03.18) | 運全 | 運用報告書 (全体版) (2022.12.19) | い | 分配金のお知らせ (2023.06.19) |
| 販 | 販売用資料 (2023.03.18) | 月 | 最新月次レポート (2023.05.31) | | |

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報を説明しております。

運全

運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

い

分配金のお知らせ

決算期の分配金の推移についてお知らせいたします。

販

販売用資料

目論見書を補完する内容をご説明しております。交付目論見書と併せてご覧ください。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。